

I K A G O 通信

滋賀県湖北地域振興局木之本建設管理部
〒529-0426
滋賀県伊香郡木之本町黒田 1234
TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654
E-mail ha36@pref.shiga.jp
URL <http://www.pref.shiga.jp/h/ki-doboku/>

つい最近まで山間部には残雪のあった伊香地方も、このところ暑い毎日が続いています。冬季のあの膨大な雪が夏場の冷房等に活用できればいいのですが・・・。北海道、東北地方ではこの利雪についての研究が進んでいると聞いています。実現する日が待ち望まれます。



お知らせボックス

建設リサイクル法

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」



管理建築課 建築指導担当 TEL (0749)-82-3540 (直通)
(0749)-82-3434 (代表)

受付時間 8:30~17:15 (土・日・祝祭日を除く)

平成14年5月30日から **建設リサイクル(分別解体と再資源化)** が義務化され、**届出が必要**になりました。

コンクリート コンクリートおよび鉄から成る建設資材 木材 アスファルト・コンクリートのいずれかを用いた工事で、下記の規模以上の工事(対象建設工事)については、基準に従って分別(分別解体)し、再資源化する事が義務付けられ、**工事に着手する1週間以上前に届け出る必要**があります。

工事の種類	規模の基準
建築物の解体	延べ床面積 80 以上
建築物の新築・増築	延べ床面積 500 以上
建築物の修繕・模様替(リフォームなど)	請負代金の額(税込) 1億円以上
その他の工作物に関する工事(土木工事など)	請負代金の額(税込) 500万円以上

一ことはNOW



道の日 - 8月10日 -

大正9年(1920年)8月10日、わが国で最初の道路整備についての長期計画である「第一次道路改良計画」が実施されたことから、昭和61年(1986年)に8月10日が「道の日」に制定されました。あまりに身近すぎて気にも止めずに通り過ぎてしまう道、ふだん立ち止まって考えることのない「道」に目を向けてもらうのがこの日です。なお、8月1日~31日は、「道路ふれあい月間」になっています。

木之本建設管理部では、伊香郡内の一般国道(指定区間外)、主要地方道、一般県道の合わせて178,534mの道路を管理しています。「道の日」をきっかけに、生活に欠かすことのできない「道」について考えてみてはいかがでしょうか。平成13年度より「道路をまもる月間」は、「道路ふれあい月間」に名称変更されました。



梅雨 - つゆ -

6月上旬から7月上旬にかけて、雨がづく季節のこと。この時期は、北のオホーツク高気圧から吹き込む冷たい空気のかたまりと、南の太平洋高気圧から流れ込む温かく湿った空気のかたまりが日本列島の上空でぶつかり、その境目に前線(梅雨前線)をつくります。梅雨前線のまわりは、大気の状態が不安定で雲が多く発生し、雨がふりやすくなります。オホーツク高気圧と太平洋高気圧の力が同じくらいだと、冷たい空気と暖かい空気の押し合う力がつり合い、前線が同じ場所にとどまり(停滞前線)、長く雨が続くのです。温かい空気のかたまりが、冷たい空気のかたまり

を北へ押し上げ、太平洋高気圧が日本を覆うと梅雨明けとなります。

梅雨の雨はときに集中豪雨となり、水害、土砂災害を引き起こします。一瞬にして生命と財産を奪う災害から身を守るために、「日頃の備え」と「早めの避難」をお互いに心がけましょう。

各課紹介

第2回 用地課



1. 用地課では、当部で施工する管内の土木事業（道路・河川・砂防事業）の用地買収、物件移転補償を行っています。
2. 担当： 保積課長、阿部主幹、原主幹、馬場主幹、山川副主幹、栗本主査
山根登記嘱託員、笠原登記嘱託員
3. 業務の内容

事業地における実施計画書（青写真）が出来上がり、地元や地権者の皆さんに実施計画の説明を終えてから、現地立会、立木調査、物件調査、事業損失調査、相続関係調査を行い、用地丈量図ができますと用地交渉を行います。用地交渉が成立しますと契約締結し、土地の分筆・所有権移転登記の手続きを行い、事業用地として工務課に引き継ぎ、工事の着工となります。



連絡先 用地課

T E L (0749)82-3794（直通）

(0749)82-3434（代表）

受付時間

8：30～17：15（土・日・祝祭日を除く）

余呉湖—あじさい園—

梅雨時のお出かけ先で悩んでいるあなた！！朗報です。
余呉湖畔に植栽面積9ha・約1万株のアジサイが、赤、青、紫、白・・・？と七変化、色とりどりの表情を見せてくれます。遊歩道や、吾妻屋も整備されていますから、デートやハイキングの途中に一度立ち寄られたらいかがでしょうか。



古道紀行



万葉の古道 塩津街道 - 深坂越え - (伊香郡西浅井町沓掛)

琵琶湖北端の塩津と越前敦賀を結ぶ古道は、塩津越え、塩津街道と呼ばれ、現在の国道8号にほぼ沿っています。中でも沓掛から深坂峠（標高370m）を越えて福井県敦賀市追分を結ぶ峠道は、深坂越えと呼ばれていました。

塩津街道 - 深坂越え - は、平安初期の延喜式にも「敦賀津より塩津に運ぶ、塩津より大浦に漕ぐ」とあるように、古代からの要路で北国から運ばれるおびただしい朱や海産物は、敦賀から陸路を経て塩津に集まり、湖上から京・大坂に運ばれました。かつてはこの峠を通る馬が「上り千頭、下り千頭」といわれるほど栄えたそうです。

しかし、塩津街道で一番の難所で深い坂と名付けられたこの峠越え（延長3.5km、標高差250m）が人や牛馬を苦しめました。このため、深坂峠の東側1kmを迂回する塩津街道 - 新道野越え - が開発され（これが1940年（昭和15年）に名敦道路として整備され、戦後国道8号となりました）主道となりました。以来、深坂峠経由の道は急激にすたれていきました。

「塩津山うち越えゆけば我が乗れる馬ぞつまづく家恋ふらしも」 この歌は、我が国最古の歌集「万葉集」にある作品で、作者は笠金村。塩津山で作った二首のうちの一首ですが、千二百年前の峠道に行く旅人の姿が目に浮かびます。

また、峠付近にある深坂地蔵は、越前の国主であった平重盛が琵琶湖と日本海を結ぶ運河を計画し、現在の深坂地蔵境内で大石のため断念したと伝えられ、堀止地蔵とも呼ばれています。この運河の計画は、その後も何回か企画されましたが、いまだに実現されていません。なお、現在の国道8号は、新道野を越えて福井県に入るルートで、近畿・中部と北陸を結ぶ重要な幹線道路として整備されています。

みちしるべ

木之本地蔵院



滋賀県伊香郡木之本町木之本 9 4 4

TEL : 0 7 4 9 - 8 2 - 2 1 0 6

自動車 : 木之本 IC から国道 8 号長浜方面直進 3 分

電車 : JR 北陸本線木之本駅下車 徒歩 5 分

木之本地蔵院は、木之本の町の中心に位置しています。JR 木之本駅からつづくなだらかな参道(国道 3 6 5 号)を上ると、正面に瓦屋根の本堂が現れます。本堂には、秘仏である木之本地蔵大菩薩が安置されています。古くより延命息災の仏様、眼の仏様として多くの人々の信仰を集めてきました。

境内に立つ高さ 6 m の地蔵大銅像は、秘仏である地蔵菩薩の写しとして 1 8 9 4 年(明治 2 7 年)に開眼した、日本で一番大きな地蔵菩薩銅像です。地蔵大銅像の足下には、たくさんの身代わり蛙が奉納されています。それは、境内に住む蛙が「人々が皆お地蔵様のご加護をいただけますように」と自ら身代わりの願をかけ、片方の目をつむり暮らしているという伝説にちなんだものです。

木之本地蔵大菩薩の年に一度の大縁日は、8 月 2 2 日 ~ 2 5 日の 4 日間行われ、全国各地より多くの参詣者が訪れ、たいへん賑わいます。

地蔵堂奥、書院北側にある庭園は、文部科学省指定の名勝庭園で、江戸時代中期頃の作庭です。形式は築山林泉式で、鑑賞本位の庭園です。



菅山寺

滋賀県伊香郡余呉町坂口

自動車 : 木之本 IC より国道 3 6 5 号を福井方面へ 1 0 分
右手へ徒歩 4 0 分

電車 : JR 北陸本線余呉津駅下車 徒歩 6 0 分

余呉町坂口を通る北国街道に沿って立つ天満宮大鳥居をくぐり、大箕山(標高 4 3 2 m)を 2 km 登ると、菅山寺に着きます。今から 1 2 0 0 年あまり前の 7 6 4 年(天平宝字 8 年)照檀上人が開き、8 8 9 年(寛平元年)に菅原道真が中興した古刹です。菅山寺は、菅原道真公が幼少の頃入山し、1 1 歳で京に上るまで勉学に励んだところであると言い伝えられており、境内には近江天満宮が建てられています。

また、菅山寺にはこんな言い伝えも残っています。「この地に住む桐畑太夫は、余呉湖に舞い降りた天女の羽衣を隠し、天女を妻にしました。やがて二人の間には一人の男の子が産

まれましたが、やがて天女は隠されていた羽衣を見つけ、再び天に戻っていきました。後に残された稚児を通りかかった菅山寺の僧が「この子の泣き声にはお経の響きがある」と寺に連れ帰り養育することにしました。この子こそ、後の菅原道真公だったので。」

かつて 3 院 4 9 坊あったといわれますが、今は老樹の茂る境内に残る、本坊、護摩堂、経堂、鐘楼、楼門などにその繁栄をしのぶのみです。1 2 7 7 年(建治 3 年)鑄造の銅鐘は、国の重要文化財で、刻銘に「本願聖霊菅大相国、精舎を当山に建立し明王を安置す」とあり、菅公伝説の古いことを示しています。また、菅公お手植えの櫻や自作の像のほか、付近が美しい庭園であったことを物語る、朱雀池と菅公姿見石などが残っています。道真公を慕って遠く関東、北陸、中部地方から参拝する人も少なくないそうです。

菅山寺へ至る坂口表参道、大見裏参道は、苔むした石段や石垣、杉の木立の深い緑が静寂の中、しっとりとした悠久の歴史を振り返らせてくれます。



道路事業



国道303号 金居原バイパス (木之本町金居原)

平成9年度から施工していた国道303号の八草トンネルを平成13年4月に供用開始いたしました。トンネルの開通により峠越えに20分程かかっていたものが僅か3分に短縮され、安全で快適に通行できるようになりました。(トンネル総延長=3,025m うち滋賀県側=1,441m)

砂防事業

白谷川 (余呉町菅並)

水生生物の生息に配慮し、平常時は溪流の上下流の連続性を維持し、洪水時には土石流をくい止めるスリット堰堤(透過型の堰堤)を設置しました。また下流には多自然型護岸、及び魚道を設置し水生生物の生息環境に配慮しています。

前号で紹介した白谷川の写真が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。



編集後記

湖北地域にも夏の季節がやってきました。厳しい暑さが続いている毎日ですが、これからの時期にしか味わえないこともあります。さざ波に浮かぶ竹生島の勝景と木々の緑に囲まれた奥琵琶湖^{にはんまつ}ならではの清らかな水の中でプカプカ漂ってみませんか。管内にはキャンプ場も整い、水質がよいのが自慢の二本松水泳場(西浅井町大浦)もあります。きっと心身共に癒されるはず。癒し系アイドルもびっくりです。(*^_^*)

元気な川。 水辺にやすらぎ ところにゆとり

7月は河川愛護月間 7月7日は川の日です。

発行 木之本建設管理部パブリシティ委員会
事務局 計画調整課 TEL 0749-82-3881